

国政の問題が地域に直結する時代

私たちの池田町を私たちの手で

町長選挙にあたつて

町長選を機に明日の池田町を考えましょ

6月24日、池田町長選挙が行われます。これから町づくりをどうしたらいいか、町民一人ひとりが考える絶好の機会であり、またそうするこ

とが町民としての責任である

私たちいま、大変厳しい状況に置かれています。出口の見えない不況による収入減や雇用不安、年金・医療・介護・保育など軒並み改悪される社会保障、目論まれる大増税と生活悪化、TPP参加で脅かされる食の安全・貿易ルール、原発事故と放射能汚染

私たちの池田町を私たちの手で

町長選挙にあたつて

町長選を機に明日の池田町を考えましょ

6月24日、池田町長選挙が行われます。これから町づくりをどうしたらいいか、町民一人ひとりが考える絶好の機会であり、またそうするこ

とが町民としての責任である

私たちいま、大変厳しい状況に置かれています。出口の見えない不況による収入減や雇用不安、年金・医療・介護・保育など軒並み改悪される社会保障、目論まれる大増税と生活悪化、TPP参加で脅かされる食の安全・貿易ルール、原発事故と放射能汚染

全国はもちろん長野県下でもも様々な町民や自治体職員の創意工夫によって、元気に町づくりを進めているところが多いです。

町の商工業・地場産業を大切にし、農林業とも連携した地域循環型産業を推進させていく自治体、厳しい財政の中でも住民を大切にするため、

住民のいのちと暮らし守る全国の自治体の経験に学んで

國政の問題がすぐにはじめに押し寄せる今日、広い視野に立って私たちの将来を考えることが必要なのではないでしょうか。

は國政だけのことでしょう

か。

こうした創意工夫により地域を大きく発展させている町や、国がやる前に実施する自治体に学ぶことが大事です。

また、消費税増税・TPP参加反対、脱原発の方針を自治体が強く推し進めることが、住民のいのちと暮らしを守る最大の道と考えます。

池田町にはこの春3000名を超える観光客が来訪しました。おひさま効果もあつたでしょうが、北アルプスの眺望と素朴な田園風景、山里が好まれたようです。運悪く天候に恵まれなくとも「池田はいいところですね」と評価してくれました。名実ともにいい町にしたいと思います。

そのため町長選挙を通じて、改めて「私たちの町づくりを私たちの手で」すすめる道を考えてみましょう。

沖縄が日本に復帰してから40年。「朝日」と「沖縄タイムス」が世論調査した。「沖縄には日本にある米軍基地の74%が集中。沖縄の基地が減らないのは本土による沖縄への差別だとの意見がある。どう思うか」との質問に、「その通り」との回答は沖縄で50%、全国では29%。調査は「『差別』ととらえる傾向はう」「本土による」とは、本土の一部政治家だけのことではなく、米軍基地を沖縄に押しつけたまま傍観してきた本土に暮らす私やあなたも含まれる。本土では基地移転先の候補になれば、地元はすぐ「反対」を表明し政府もあきらめるが、沖縄には真実を隠蔽してまでアメリカの意を政府は押しつける。なぜ沖縄は差別されるのか▼沖縄は琉球王朝時代、朝鮮と同じように日本が併合。そこに「本土対沖縄」の根っこがありはしないか、と思う。「沖縄はお祝いできる状況にない」として太田元知事は復帰記念式典を欠席。式典で基地の県外移設を訴えた仲井真知事。のは沖縄だってイヤなのだ。真剣に考えたい。

あなたならどう入れる？ こんな〇〇〇もういやだ！

原発 消費税 喀らし 人生 就活 農業 基地…

ネットで〇〇〇を検索してみると出てくる。中でも一番多いのはやはり「生活」「暮らし」本当に切実ですね。続いて「人生」、身につまされます。中には「夫」「姑」「自分」「介護」という家庭内の回答から、「就活」「上司」「職場」「会社」、果ては「首相」「民主党」「国」などというものまで。学校では「先生」「生徒」「部活」。一方、福島県の人なら「原発」、沖縄県の人なら「米軍基地」となるのでしょうか。さて、あなたは…?

こんな「暮らし」もういやだ

「毎日面接、1年続いている。人間界に戻りたい…もういやだ、死にたい」…若い人の声は切実です。25才以下の若年層では非正規率は4割を超えています。この世代の男子では2人に1人が非正規雇用が失業中という深刻な事態に。

一方、大規模なリストラを行った大企業は增收増益。経団連はさらに大企業減税を要求する始末です。こうした財界・大企業の横暴を厳しく規制し、雇用と若者の生活を守ることが必要です。

「介護はしていても、後に残るものは何もありません。祖母が死ぬまでも介護は続きます。もう死んでもい

いなり病だ」— 共産党志位委員長は4月29日、安曇野スイス村サンモリツの演説会で、超満員の参加者に向けてバッサリ。野田首相が命懸けでやるとしている消費税増税に対しては「くらしと経済をどん底に突き落とし、貧困と格差が拡大する。税収が増えないこのオノパレードだ」と力説。そして、消費税増税に頼らない日本共産党の政策として「能力に応じた負担の原則にたつた税制・財政の

志位委員長演説会（4/29）

900人の参加者が納得

「民主党政権は国民を裏切り続けている。米軍基地、TPP、消費税、原発などアメリカと財界のいいなり病だ」— 共産党志位委員長は4月29日、安曇野スイス村サンモリツの演説会で、超満員の参加者に向けてバッサリ。野田首相が命懸けでやるとしている消費税増税に対しては「くらしと経済をどん底に突き落とし、貧困と格差が拡大する。税収が増えないこのオノパレードだ」と力説。そして、消費税増税に頼らない日本共産党の政策として「能力に応じた負担の原則にたつた税制・財政の

改革」と「国民の所得をふやす経済の民主的改革」を同時にすすめることこそが社会保障の充実と財政危機の打開をはかる道であると強調しました。

最後に、北陸信越ブロック衆院比例予定候補の藤野やすふみさん、2区予定候補の北村正弘さんの必勝を期して固く握手をし、満員の参加者は熱い連帯の拍手で応えました。



こんな「首相」もういやだ

野田政権の支持率はすでに20%台

いです」とつぶやく20代の女性。「老介護」「介護地獄」などといふコトバが当たり前のように単語になるこの国の貧困は異常です。これらの実態を尻目に、政府は低所得者に最もひどい課税となる消費税増税を「国際公約」しているのです。絶対に許すわけにはいきません。

野田政権の支持率はすでに20%台でも「異様」の一語です。

国民の暮らしを守る政策を打ち出した日本共産党を大躍進させて、消費税増税をストップさせましょう。